

(参考) 国のZEH定義の見直しについて

- 国は、2050年の目標「ストック平均でZEH水準の省エネ性能を確保」達成を牽引する省エネ性能として、ZEHの定義見直しを検討中
- 新定義の名称を「GX ZEH」とし、要件を「断熱等級6・一次エネルギー消費量削減率35%以上」に引き上げ（戸建住宅では蓄電池等の設置も要件化）、2027年度（令和9年度）から新規認証を開始する予定

	国の義務基準	ZEH (現行定義)	本市基準	本市誘導基準	GX ZEH (新定義)
一次エネルギー消費量削減率	0% (BEI1.0)	▲20% (BEI0.8)	▲20% (BEI0.8)	▲30% (BEI0.7)	▲35% (BEI0.65)
断熱性能	UA値0.87 (断熱等級4)	UA値0.6 (断熱等級5)	UA値0.6 (断熱等級5)	UA値0.48 (S-GI)	UA値0.46 (断熱等級6)
その他	—	2030年度までに引き上げられる国の義務基準	国が2030年度までに引き上げる基準（現ZEH水準）を、前倒して設定		戸建住宅は、 ①高度エネマネ、 ②蓄電池（太陽光発電導入時のみ）の導入が必要

(参考) 国のZEH定義の見直しについて

